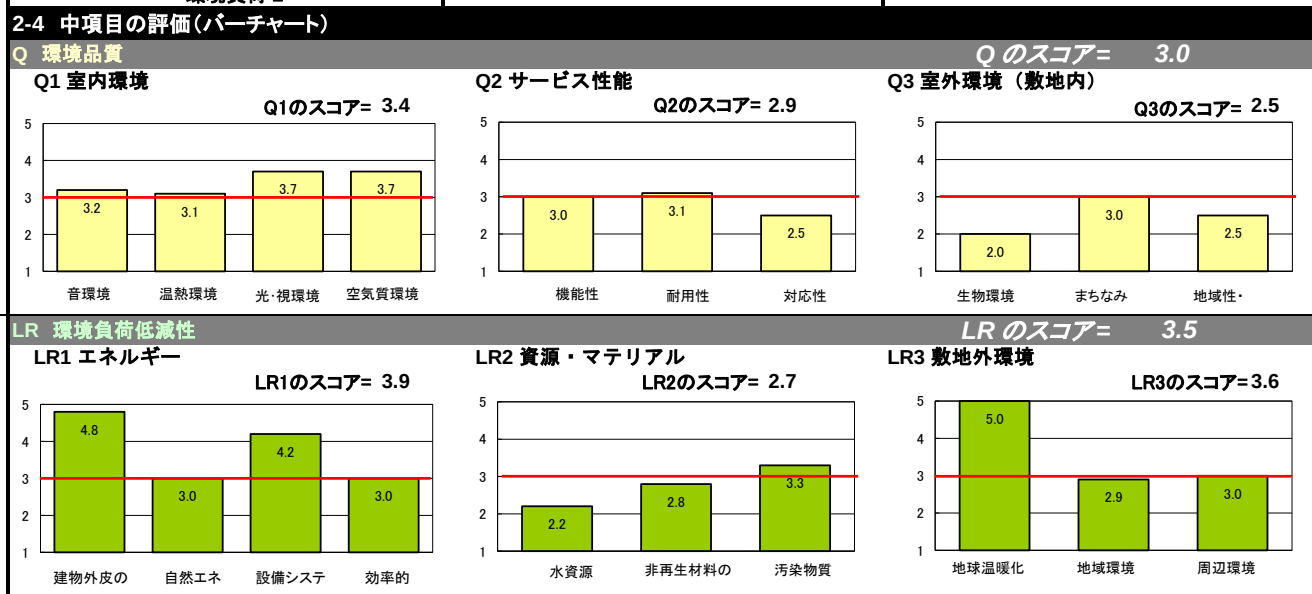
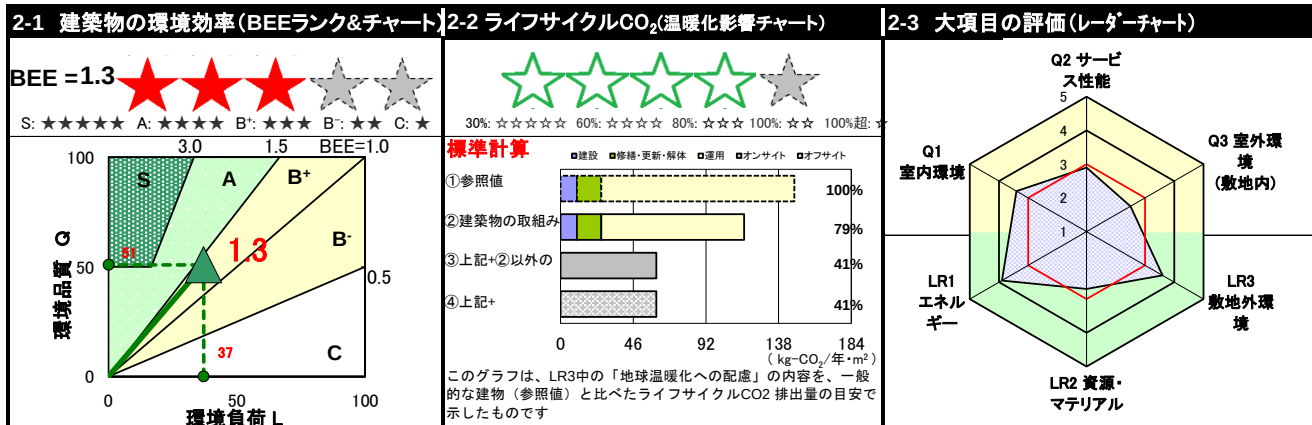


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)熊谷市本町1丁目介護施設	階数	地上5F
建設地	埼玉県熊谷市本町1丁目63、69-1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年8月1日
敷地面積	1,512 m ²	作成者	大宮 結花
建築面積	724 m ²	確認日	2024年8月28日
延床面積	3,226 m ²	確認者	大宮 結花



3 設計上の配慮事項		
総合		
周辺にはコミュニティ広場及び駅近くに計画を行い、建物利用者の利用性・利便性等に配慮した福祉施設を計画する。		その他 談話スペースを各所に配置し、入居者同士の健康と交流を促進。
Q1 室内環境 建物の熱負荷を抑制し、快適性と合わせて省エネ化を図る。	Q2 サービス性能 使用部材には耐用年数の長い配管材を使用し、長寿命化を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化条例を満たす植栽を行い、建物利用者が四季を堪能し、リラックスできる空間を提供する。
LR1 エネルギー パッシブ技術として、外皮性能を向上させアクティブ技術として高効率設備機器を導入することで、エネルギーの削減を行う。	LR2 資源・マテリアル 断熱材にはノンフロン断熱材を使用し、地球温暖化の抑制を行う。	LR3 敷地外環境 高効率機器による運用時のCO ₂ 排出量の抑制。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)熊谷市本町1丁目介護施設	BEE	1.3	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
5.0	+	2.3	=	7.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	5.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	5.0
高効率機器による運用時のCO2排出量の抑制。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
条例を満たす緑化・植栽を行う 中木、ピロティ、バルコニーから形成される日陰により敷地内の温熱環境を緩和する。			

 : 入力欄